

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書 1

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	I II III IV V
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立三井高等学校 1年生 111名 2年生 118名 3年生 132名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (創立記念行事) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック教育推進校オリンピック招請事業を活用し、東京オリンピックで活躍した選手達が実施している、体幹トレーニング法の講話や実践をとおして、体幹について興味・関心を持たせるとともに、オリンピック選手の育成についてのスポーツトレーナーの役割に触れる。また、講演をとおしてスポーツのすばらしさ、楽しさを感じ、生涯にわたって積極的にスポーツと関わろうとする態度を育成する。
5 取組内容	1 1月中旬 講師決定 プロトレーナー木場克己 氏 (こば かつみ) 2 10月下旬 事前授業 体育授業において、講師木場克己氏の紹介ビデオ及び体幹トレーニング実践ビデオ等を視聴させ、体幹について興味・関心を持たせた。 3 11月2日(火) 第1部 5・6限目 14:00~15:35 場 所 スポーツ健康コース1・2・3年生 剣道場 それ以外の生徒は各教室でオンライン中継

講師 プロトレーナー木場克己 氏

演 題 「生涯、健康でいられる為には高校生年代で貯筋を作ることが大事」
～プロトレーナーの助言～

創立記念講演会
『開会行事・講演・閉会行事』



開会行事：スポーツ健康コース1・2・3年生 剣道場にて



講演風景



体幹トレーニング実演

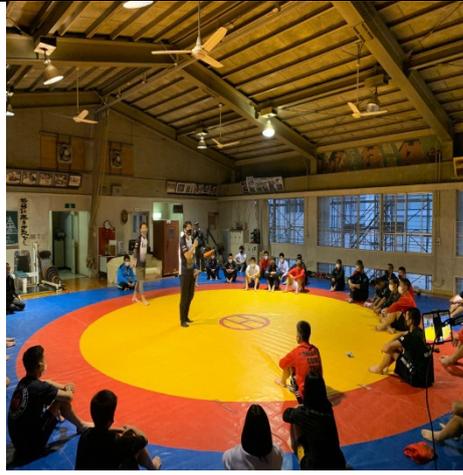


テレビ局の撮影

第2部 放課後 16:30～18:30

場 所 レスリング道場2階（部活動生2年）
レスリング道場1階（部活動生1年）

『体幹トレーニング教室』



体幹トレーニング教室開始



体幹トレーニング実践中



指導者達も参加



部活動生に熱のこもった指導



体幹トレーニング第一人者の木場克己プロトレーナーと記念写真

6 主な成果

- ① 東京オリンピック出場選手やプロの選手を指導しているプロトレーナーの講話を聞き、スポーツの楽しさや魅力を味わうことが出来た。
- ② 体幹トレーニングの実践教室をことにより、プロトレーナーの体幹トレーニング法の実技をとおして、体幹について興味・関心を持つことができた。

	③ オリンピック選手の育成について、スポーツトレーナーの役割に触れることができた。
7実践において工夫した点 事業の特色	① 講演を頂く方の講演が生徒達にとってより有意義になるように、講師のプロフィールや体幹トレーニング等でTVに出演された動画等を事前に視聴させ学習を行った。
8主な課題等	① 講師との日程調整が難しかった。 ② 体育館が工事のため使用できず、校内での講演する場所確保が大変であった。
9来年度以降の 実施予定	検討中です。

5 取組内容

- 1 4月～5月 特別支援学校と連絡調整
- 2 7月下旬 特別支援学校と連絡調整で、コロナの状況を踏まえ大事をとって交流を中止した。
- 3 10月中旬 本校福祉コースの1年生と2年生のボッチャ交流競技大会の説明を実施した。
- 4 12月15日 3時間目 事前授業
福祉関連授業において、2年2組（車いす利用）にボッチャルールを復習し、競技と班分けを行った。



事前指導



ルール復習

4時間目 ボッチャ交流競技大会
体育授業において、2年2組と1年2組のボッチャ交流競技大会（車いす利用）にボッチャルールを復習し、競技と班分けを行った。



ボッチャ交流大会 開会式



エバニュー ボッチャ用使用



試合開始



審判判定会議中



判定の結果 勝利し喜ぶ生徒達



生徒達の進行で閉会式



表彰式 優勝2班 おめでとう



2年生記念写真 はい〜ポーズ

6 主な成果

- ① 昨年度校内で実施したボッチャ競技会の経験を活かし、1年生の生徒に積極的にルール説明や競技のやり方を教えるなど、スポーツを通してリーダーシップを発揮して自ら進んで取り組む姿勢が見られた。
- ② パラリンピック競技であるボッチャを体験することで、様々な障がいを超えて楽しむことが出来る競技であることを改めて実感することが出来た。

7実践において

工夫した点

事業の特色

- ① 2年生と1年生生徒による合同チームを編成することにより、ボッチャ競技のルールや技術を向上させ、交流をより深めることが出来た。
- ② ボッチャ競技の体験を深めることにより、パラリンピックへの興味関心を高めることが出来た。

8主な課題等

- ① コロナ感染対策関係で、他校との日程調整が難しく交流ができなかった。
- ② 普通科クラスでの交流会を実施ことが出来なかった。

9来年度以降の

実施予定

- ① 実際に障がいがある方々との交流を目指し、特別支援学校において障がい者スポーツ競技交流体験会を実施したい。